

## 2021 金武地区消防衛生組合 管理者年頭訓示式を開催

令和3年1月13日（水）金武町立中央公民館大ホール

新型コロナウイルス感染症対策の観点から消防出初式は中止とし、規模を縮小して開催しました。

仲間一<sup>なかもははじめ</sup>管理者（金武町長）は「金武町、恩納村、宜野座村の住民の生命、財産を守るため、消防に関わる者の重要な任務として、消防職・団員には、なお一層の防災意識を高め、消防防災体制の充実、強化に向け共に取組んでいきましょう！」と年頭訓示を述べた。

仲吉武<sup>なかよしたけし</sup>消防長は「これまでの災害の教訓を忘れることなく、常に研さんに努め、消防力の向上にまい進していく。職・団員一丸となって地域住民の安心、安全を全力で守ることを誓う」と決意を新たにした。

式では、令和2年12月に管内で発生した水難事故で漂流者救助にご協力いただいた「後濱門<sup>くしはまじょう</sup> 義夫<sup>よしお</sup>さん」（金武町在・漁業）へ感謝状の贈呈も行いました。

式は両副管理者（長浜善巳恩納村長、當眞淳宜野座村長）及び組合議会議員も出席、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、国民の平穏な生活が戻るよう全員で祈念して終了しました。



仲間一管理者の訓示



仲吉武消防長の答辞



後濱門義夫様へ感謝状を贈呈（正副管理者と撮影）



会計管理者及び組合議会議員、正副管理者



消防職・団員と正副管理者